

「令和 6 年度学生による授業評価結果報告」

川崎医療短期大学 FD・SD 委員会

本学では、大学教育の質的向上を図ることを目的として、学生による授業評価を継続して行っている。また、評価結果を基にした FD 活動として、教員の自己点検・評価を実施し、学生へ授業評価に関するフィードバックを令和 5 年度から実施している。

令和 6 年度は前期・後期の学期末に授業評価を受けた。調査内容は、1) 学生の自己評価 (4 項目)、2) 授業の基礎的な事項 (4 項目)、3) 学習の推進に関する事項 (3 項目)、4) 総合評価 (2 項目) の計 13 項目である。回答は、「そう思わない」「あまりそう思わない」「どちらでもない」「ややそう思う」「とてもそう思う」の 5 段階評価とした。調査結果に基づいた科目ごとの「教員による自己点検報告書」を提出後、各教員に学生への授業改善への取り組みを WebClass に掲載することで、学生へフィードバックを行ったが、学生の閲覧数が少なかったため改善策を検討する。

以下に全体の集計結果を示す。

全体平均は、前期・後期共に 4.5 と高い満足度が示された。例年最もポイントが低い「I 学生の自己評価 4) 私は、授業外学習（予習、復習を含む）をした」については、前期 4.1、後期 4.0 であり、昨年度より後期の評価がやや低くなっている。今後も経過を注意してみていく。

令和6年度授業評価結果集計表

大項目	質問項目		前期	後期
Ⅰ 学生の自己評価	1)	私は、シラバスの内容（到達目標、授業内容、評価方法）を理解している。	4.5	4.5
	2)	私は、この授業中、マナー（携帯電話、私語、いねむり、遅刻、早退をしない）を守った。	4.6	4.6
	3)	私は、授業に意欲的に取り組んだ。	4.6	4.6
	4)	私は、授業外学習（予習、復習を含む）をした。	4.1	4.0
Ⅱ 授業の基礎的な事項	5)	この授業は、テーマや到達目標、内容、評価方法等を予め明確に示された。	4.6	4.5
	6)	この授業は、シラバス（到達目標、授業内容）に基づいて行われた。	4.6	4.5
	7)	この授業は、時間割に沿って授業を行われた（休講、変更をあまりしない）。	4.6	4.5
	8)	この授業は、学生が授業に集中できる環境を整える努力をしていた。	4.6	4.5
Ⅲ 学習の推進に関する事項	9)	この授業は、学生が興味を持てるよう授業内容や方法を工夫されていた。	4.6	4.5
	10)	この授業は、板書や配付資料、視聴覚機器等の教育器材の使用によって理解が深まった。	4.6	4.5
	11)	この授業は、適切な進度で行われた。	4.6	4.5
Ⅳ 総合評価	12)	私は、シラバスで求められた到達目標をほぼ達成できた。	4.4	4.4
	13)	私は、総合的にこの授業に満足している。	4.6	4.5